

「地域公共交通網形成計画」について

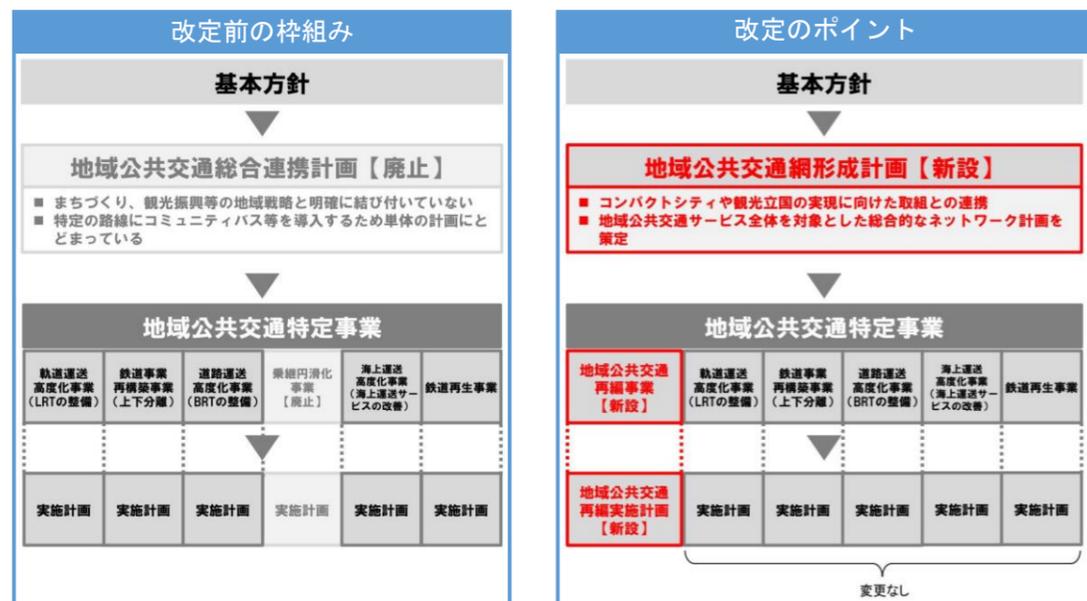
1. はじめに

生駒市における「生駒市地域公共交通総合連携計画」の計画期間は平成 23 年 3 月～平成 33 年 3 月と定められている。平成 32 年度に連携計画の策定期間が終了することとなり、平成 33 年度以降の生駒市における公共交通計画の内容を見直し、新たに策定する必要がある。

一方、平成 26 年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正が行われ、国が定める基本方針に基づき、「地域公共交通総合連携計画」から、新たに「地域公共交通網形成計画」を策定することができる。

2. 地域公共交通網形成計画について

- ・地域公共交通網形成計画とは、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン（ビジョン+事業体系を記載するもの）」としての役割を果たすものである。
- ・既存の地域公共交通総合連携計画が、右頁の①～⑥の基本方針の内容に合致するものであれば、そのまま地域公共交通網形成計画として定めることができる。
- ・一方で、個別のコミュニティバス路線に係る取組みに限定されているものなど、形成計画が示す基本方針（右頁の①～⑥の内容）に照らして内容が十分でないものは、新たに形成計画として定めることが必要となる。
- ・形成計画には、従来の連携計画に加えて、「観光振興、健康、福祉等の地域戦略と連携したまちづくり」、「地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築」の 2 点が追加された。



出典：国土交通省地域公共交通の「網形成計画及び再編実施計画作成のための手引き」

① まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保

- ✓ 都市計画・土地利用の見直しや中心市街地活性化など、まちづくりと一体となった計画となっているか？

⇒生駒市総合計画だけでなく、横位計画（立地適正化計画等）との整合性を取った計画にする必要がある。

- ✓ 観光振興などの地域活性化策と一体となった計画となっているか？

- ✓ 健康・福祉や環境などの多様な分野との連携が図られているか？

⇒まちづくりと一体となった計画を具体的に記載する必要がある。（生活関連施設や観光といった多様な視点での地域の現状把握が必要）

② 地域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成

- ✓ 特定の路線やエリアに限定した計画内容になっていないか？

- ✓ 目指すべき公共交通ネットワークの姿が明確に記載されているか？

⇒連携計画では、生駒市内全域を計画区域として検討しており、生駒市の地域特性を分析したうえで、新たに公共交通サービスの提供が必要な地区を整理している。また、公共交通サービスを提供するための考え方や基本方針を明確にしている。形成計画を策定する際にも、こうした考え方を踏まえ、地域全体を見渡した公共交通ネットワークのあり方や将来像について検討していく。

③ 地域特性に応じた多様な公共交通サービスの組合せ

- ✓ 交通モード間の役割分担や連携策が盛り込まれているか？

- ✓ コミュニティバスなど、個別の事業のみを取り扱う計画となっていないか？

⇒連携計画では、コミュニティバスを中心に検討している。形成計画を策定する際は、鉄道等の他の交通手段を含めた計画立案が必要である。

④ 住民の協力を含む関係者の連携

- ✓ 地域住民や各種団体等の積極的な参加によって計画が策定されているか？

- ✓ 地域住民や各種団体等が地域公共交通の活性化に主体的に参加するような内容が盛り込まれているか？

⇒コミュニティバスは生駒市の財源（市民の納めた税金）を用いて運行していることから、連携計画では、一定水準の利用や地域の協力など、地域住民等が主体的に参加することを謳っている。形成計画を計画する際にも、このような考え方を踏襲していく。

⑤ 広域性の確保

- ✓ 住民・利用者の日常的な生活圏の調査・分析の上で作成されているか？

- ✓ 住民の日常的な生活圏を踏まえて計画の区域が設定されているか？

⇒連携計画では、生活圏における実態調査を行い、分析をしたうえで計画をしている。形成計画では、連携計画での調査結果を参照、もしくは必要に応じて再度調査・分析をおこない計画に反映する。

⑥ 具体的で可能な限り数値化した目標

- ✓ 観光振興などの地域活性化策と一体となった計画となっているか？

- ✓ 課題や基本方針や対応した数値指標や目標値が設定されているか？

- ✓ 目標値が関係者の間できちんと共有されているか？

⇒連携計画では、コミュニティバスの運行に際し、利用者の負担割合に関する基準を定め、その評価とサービス内容の見直しを厳格に実施している。形成計画の策定に当たっては、こうした公共交通サービスに関する数値目標に加え、まちづくりなど様々な視点から定量的な数値目標・目標設定を検討する必要がある。